無雑	 工業高等	車門	 月学校		開講年度	令和02年度 (2		拇	業科目	インター	フェースⅡ	<u> </u>	
科目基礎		√ →	<u>」 丁 ((X</u>		市明十次	IJTHUと 十 /又(2	.020十/又)	」1文	*11D	1 / 9 -	<u> </u>	1	
	:1月羊収	٦,	117				初日区公		击眼 / ン///				
	科目番号 0117								専門 / 必修	,			
授業形態授業開設学科電気情報						単位の種別と単位が	以 女 X	履修単位:	L				
開設学科 電気情報 開設期 後期				1上子於	1	対象学年 3 週時間数 2							
				オ・流流	カプロ・ルギ								
教科書/教材					: 適宜プリント配布,横山編「C言語による制作と制 RT-192)) (<i>y</i> -9	<u> </u>			
到達目標	<u> </u>	4	・川 里原	ר,א	TI								
1 センサ 2 アンプ 3 周辺回 4 基本的	ー回路が理 回路が理解 路とパーソ なon・off#	!でき !ナル	る。 コンピ	ュータ -ムが <u>エ</u>	との接続を理解できる。	世解できる。							
ルーブリ	リツク			T 00 -	わんとないまし	*** 6 00		•» II		十四十二			
				想的な到達レ	標準的な到達レベルの目安			木到達レ	ベルの目安				
評価項目1			17		ンサー凹路か	十分に理解できる	センサー回路が	理解でき	きる。	センサー	回路が理解で	きない。	
				アンプ回路が十分に理解			アンプ回路が理解	ンプ回路が理解できる。			アンプ回路が理解できない。		
評価項目3				周辺	辺回路とパー	ソナルコンピュー 分に理解できる。				周辺回路とパーソナルコンピュー タとの接続を理解でき ない。			
評価項目4					本的なon・oi 分に理解でき	ff制御のシステムが る。	が 基本的なon・off制御のシステムが 理解できる。				on・off制御の ない。	Dシステムが	
学科の到	」達目標項	目	との関	係									
学習・教育	到達度目標	票 (A)) 学習	教育至	到達度目標 (E	Ε)							
教育方法	等												
				ータと らを組 法】	- 夕と周辺機器との接続、制御方法などを理解し、その基礎技術を修得する。基礎的な知識・技術を聴講した らを組み合わせた回路を報告書にまとめる。								
授業の進め方・方法			授業は講義と演習形式で行う。講義中はノートをとり集中して聴講し、演習中は周囲の学生と積極的に議論すること。 必要に応じてレポート課題を課すので期限に遅れずに提出すること。 【学習方法】 黒板の内容は必ずノートに取ること。										
注意点			【成績の評価方法・評価基準】 中間・期末の2回の定期試験を行う。試験の平均点(70%),課題の提出状況および内容評価(30%)で総合成績を評価する。 【備考】 Moodle、電子メールを用いて資料提供、連絡を行うので、パソコンおよびスマホの操作に慣れること。 【教員の連絡先】 研究室 A棟1階 (A-105) 内線電話 8967 e-mail: nakagawaアットマークmaizuru-ct.ac.jp (アットマークは@に変えること。)										
授業計画	Į.												
		週		授業内	容			週ごと	の到達目標				
			1週 シ		(スの説明、		1						
後期		2週			アンプ回路		2						
					コンパレータ回路			2					
	3rdQ				サーミスタによる温度判定回路			1, 2					
		5週			寅習・レポート作成			3					
					ADCの概要、サンプル&ホールド回路			3					
					ADCのタイムチャート・使い方、演習			3					
		8週			可間試験			_					
		9週			レーとインターフェース			3					
					制御プログラムのフローチャート B度制御シュニノの柳亜			3					
					温度制御システムの概要			4					
	4+h0	12週		温度制御システムの出力回路ブロック、レ				4					
	4thQ	13ì		温度制御システムの入力回路ブロック、			•	4					
		14ì		温度制御システムのシミュレーション、			、レホート作成	4					
			16年 (15		ンターフェース回路のまとめ 15週目の後に期末試験を実施) 末試験返却・達成度確認			4					
エデル ー	ワカロさ	= 7 =	ラムの		内容と到達			<u> </u>					
<u>モノルー</u> 分類	11 カライ	<u> </u>	分野	/丁目	学習内容	上口 伝 - - 学習内容の到達目標	<u> </u>				到達レベル	授業組	
				雷子		子首内谷の判)建口標 オームの法則を説明し、電流・電圧・抵抗の計算ができる。		·る。	3	後1,後4,後			
専門的能力 分野別の専 電気 門工学 系分				気・電子 分野 電気回路							3	9	
						キルヒホッフの法則を用いて、直流回路の計算ができる。			₁	1			

				合成抵抗や分圧・分流の考え方を用いて、直流回路の計算ができ る。					後4
		電力量と電力を説明し、これらを計算できる。						3	
			電子回路	演算増幅器の特性を説明できる。				3	後2,後6
			計測	A/D変換を用いた	ディジタル計器の	原理について説明で	きる。	3	
評価割合									
	試験		 発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合	計
総合評価割合	70		0	0	0	30	0	10	00
基礎的能力	0		0	0	0	0	0		
専門的能力	70		0	0	0	30	30 0		00
分野横断的能力	0		0	0	0	0	0 0		